

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【公開番号】特開2003-220079(P2003-220079A)

【公開日】平成15年8月5日(2003.8.5)

【出願番号】特願2002-331044(P2002-331044)

【国際特許分類】

A 61 C 11/00 (2006.01)

A 61 C 19/045 (2006.01)

【F I】

A 61 C 11/00 B

A 61 C 11/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月14日(2005.11.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】咬合分析装置及び咬合分析方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 下顎運動を再現させる咬合器に取り付けるものであって、前後、左右に回動可能に支持され且つ上下に移動可能な歯列模型調整板を備えたことを特徴とする咬合分析装置。

【請求項2】 歯列模型調整板は、左右に分割し、個別に前後に回動可能に支持したものである請求項1記載の咬合分析装置。

【請求項3】 歯列模型調整板は、回転可能としたものである請求項1記載の咬合分析装置。

【請求項4】 歯列模型調整板の前方部に、アイポインツパラレルチェックを備えたものである請求項1記載の咬合分析装置。

【請求項5】 歯列模型調整板は、ウィルソンの湾曲に形成したものである請求項1記載の咬合分析装置。

【請求項6】 下顎運動を再現させるフェイス・ボウ・トランスマーカーに用いるものであって、本体両側に仮想咬合平面記録具を備えたことを特徴とするフェイス・ボウ。

【請求項7】 下顎運動を再現させるフェイス・ボウ・トランスマーカーに用いるものであって、本体正面にアイポインツチェックを備えたことを特徴とするフェイス・ボウ。

【請求項8】 フェイス・ボウの正面に設けたアイポインツチェックで記録した瞳孔線を再現させるもので、瞳孔線表示部と、該瞳孔線表示部を回動可能に支持し下顎運動を再現させる咬合器のインサイザルピンに上下動可能に取り付ける支持部と、によって構成したことを特徴とするアイポインツパラレルチェック。

【請求項9】 フェイス・ボウ・トランスマーカーにより顎関節と上顎の位置関係及び仮想咬合平面をフェイス・ボウに記録した後、前後、左右、上下に調整する歯列模型調整

板を備えた咬合分析装置を取り付けた咬合器に該フェイス・ボウをセットし、該フェイス・ボウの仮想咬合平面の記録を、該咬合分析装置の歯列模型調整板に再現することを特徴とする咬合分析方法。

【請求項 10】 フェイス・ボウ・トランスファーにより瞳孔線を記録し、これを咬合分析装置に備えたアイポインツパラレルチェックに再現するものである請求項9記載の咬合分析方法。

【請求項 11】 フェイス・ボウ・トランスファーによりフェイス・ボウの正面に設けたアイポインツチェックで瞳孔線を記録した後、咬合器に該アイポインツチェックをセットし、該瞳孔線の記録を、該咬合器のインサイザルピンに設けたアイポインツパラレルチェックに再現することを特徴とする咬合分析方法。